



1_団体結成から60周年を迎えた駒木鹿子踊保存会。伝統の舞で観客を魅了した 2_初日は中心市街地が会場。各神楽団体の猿田彦を先頭にパレード開始 3-4_パレードには約50の郷土芸能団体が参加。老若男女、参加者に笑顔があふれた 5_神興会「勢組」は結成30周年。子孫繁栄と豊作を願う神興で祭りを熱く盛り上げた 6_市内唯一の虎舞「暮坪虎舞」。子どもも一生懸命に虎となり舞った 7_福幸もちがまかれた 8_凜とした舞で魅了した南部ばやし 9_もちを手渡し心を交わす 10・11_夜は、市役所本庁舎前で神楽共演会が開かれ幻想的な舞台を創り出した。遠野駅前通りでは郷土芸能共演会を開催。子どもたちも大人の姿を真似ながら舞を披露した 12_しし踊り大群舞では12団体が一堂に会し、圧巻の演舞を披露した

13_2日目は遠野郷八幡宮が舞台。やぶさめが人馬一体の妙技を披露した 14・15_末角神楽(宮古市)と錦町青年会釜石虎舞(釜石市)がゲスト参加した 16_馬場めぐりで華麗な舞を披露する山口さんさ。多彩な郷土芸能団体が約200の馬場で観客を魅了した 17_神々への祈りを込めて舞う神楽 18_馬場めぐりを終え、2日間の達成感を分かち合った



「遠野まつり」(同実行委員会主催)は9月21・22の両日、遠野駅前通り周辺と遠野郷八幡宮境内で行われました。郷土芸能の継承活動の成果が堂々と披露され、市内外から駆け付けた約2万人の観客を魅了。熱気と感動に包まれた2日間は、秋深まる遠野郷を彩りました。



遠野まつり

日本のふるさと